



春城(埼玉県川越市郊外) 昭和59年

風土をみつめる旅



微雨(長野県木曾郡南木曾町吾妻 妻籠) 昭和49年



マタギの家(秋田県北秋田市阿仁町根子) 昭和38年



聚落(山形県鶴岡市田妻俣) 昭和41年



峠の下の村(岡山県苫田郡鏡野町上齋原) 昭和53年

財団法人地域創造 平成20年度市町村立美術館活性化事業
世田谷美術館所蔵作品による

向井潤吉展

5/31(土)~7/6(日)

5月31日(土)の一般公開は正午からになります。

開館時間: 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日: 6月2日(月)・9日(月)・16日(月)

観覧料: 一般600円(480円)

小・中学生は無料()内は20名以上の団体割引料金です。

主催: 第9回共同巡回展実行委員会、田原市博物館 / 特別協力: 世田谷美術館 / 助成: 財団法人地域創造 / 後援: 愛知県教育委員会、NHK名古屋放送局、中日新聞社

記念講演会

演題「向井潤吉の画業にふれて」(入場無料)
講師 世田谷美術館美術担当課長 橋本善八氏
6月8日(日)午後1時30分から 華山会館

エッセイ朗読会

演題「向井潤吉・旅の記憶、旅の言葉」(入場無料)
黒テント 小篠一成氏
6月15日(日)午後1時30分から 華山会館

展示解説 当館学芸員による

6月1日(日)・6月22日(日) 午前11時

エッセイ朗読会・展示解説に参加希望の方は観覧料が必要になります。

同時開催

渡辺華山と椿椿山
特別展示室

椿山初期の初公開作品も展示します。
重要文化財 華山愛用菊池槍
市指定文化財 椿山筆花卉図屏風など



泉(アングルの模写) 昭和4年

図録のご案内

今回の企画展の図録を販売しております。出品作品の図版が数多く掲載されています。この機会にぜひお買い求めください。

A4版、カラー・1色
無線綴じ
価格1,500円(税込)

田原市博物館

☎22局1720

http://www.taharamuseum.gr.jp

向井潤吉(1901~1995)は京都市に生まれ、関西美術院に学びました。1920年に二科展に初入選後、1927年に渡欧、ルーヴル美術館で模写に没頭し、技法、表現の研究を重ねました。1933年からは、東京都世田谷区にアトリエを構え、制作拠点としました。そのアトリエは現在、向井潤吉アトリエ工館となっています。1937年からは陸軍報道班員として、戦争記録画の制作にも従事し、1945年には行動美術協会の創立会員となります。戦後は高度経済成長の中、失われていく風景を記録していくことをライフワークとして茅葺屋根の民家をモチーフに日本全国の風景を描き続けます。1995年に93歳で亡くなるまで日本の原風景を描き続けた画家です。今回、大正8年(1919)から平成元年頃までの作品を展示し、里山の風景と調和し、見る者を惹きつけたその一貫した思想や表現力の秘密を世田谷美術館が所蔵する作品群によって総合的に回顧し、画家の魅力と生涯を探ります。